

令和2年度

事業計画書



公益財団法人 国際交通安全学会
International Association of Traffic and Safety Sciences

目 次

令和2年度 事業計画

事業計画の重点	1
---------	---

事業計画

I. 研究調査	2
II. 国際連携	3
III. 広報・出版	3
IV. 褒賞	3
V. IATSSフォーラム	4
VI. 業務運営等	4

事業計画の重点

理想的な交通社会の実現に寄与することを目的とし、
〈国内外の「交通とその安全」にかかわる社会貢献事業）を行う。

1. 交通及びその安全に関する研究調査
2. 交通及びその安全に関する研究会の開催
3. 交通及びその安全に関する情報、資料及び文献の収集及び発行
4. 交通及びその安全に関する研究調査、教育その他の活動に対する褒賞
5. 諸外国における理想的な交通社会実現に向けた研修
6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

(展開に当たっての基本的な考え方)

1. 学際性並びに国際性を特徴としての、先見性及び実際性を目指す活力ある事業の展開
2. 社会の変化をとらえつつ、予定される収入を基とする効率的かつ均衡のとれた事業運営の継続

(今年度の重点施策)

1. 創立50周年(2024年)に向けた施策推進
 - 1) “GIFTS” 及び第2期“戦略プロジェクト”を軸とした施策の展開
 - 2) 多面的は国際展開の強化
 - ・研究調査、出版などを通じた様々な国、組織、人との「共創」
2. IATSSフォーラム事業の進化
 - 1) 新研修プログラム実施に向けた試行
 - 2) IATSSの研究調査活動との連携

事業計画

項 目	予 算 (円)
国内外の「交通とその安全」にかかわる社会貢献事業	601,450,000

内 容
<p>I. 研究調査</p> <p>1. 次の方針を維持して運営する。</p> <p style="margin-left: 20px;">1) 本会の目的である理想的な交通社会の実現に寄与するという原点に立ち、特徴である学際的かつ国際的な研究調査テーマに取り組む。</p> <p style="margin-left: 20px;">2) 研究調査の成果については、社会への発信に加え、実践及び具現への提言を積極的に行う。</p> <p>2. 創50戦略会議の戦略に基づき研究調査プロジェクトを実施する。</p> <p>3. 研究調査部会企画委員会の選考に基づくプロジェクトを展開する。</p> <p style="margin-left: 20px;">自主研究、行政/団体連携、社会貢献の各領域におけるプロジェクト*を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会/技術の環境変化を捉えた研究 ・ 海外、特にアジアを対象とする現地組織と連携した研究 ・ 若手研究者の育成に資するプロジェクトの運営(国際発表等) <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">※10本程度実施予定</p> <p>4. 研究調査事業の成果報告会を開催する。</p> <p style="margin-left: 20px;">研究調査活動の成果を学会内で共有/議論し(研究調査内部報告会)、特に成果が認められた活動については研究調査報告会にて広く社会へ公開し社会貢献の一助とする。</p>

II. 国際連携

国際性を高める観点から以下施策を推進する。

1. 「第6回GIFTS*：国際フォーラム」を開催する。
* Global Interactive Forum on Traffic and Safety
2. 海外招待会員、海外名誉顧問、英文論文集海外編集委員等に加え、交通に関わる研究者、組織とのネットワークを研究調査、出版、GIFTS等に活用する。
3. ベルギーの交通安全研究所“Vias institute”の所掌する約40か国の共同研究プロジェクトESRA2(交通行動に関するe-survey)に参画する。
4. アジア諸国の現地研究機関への業務委託を通じ、研究調査活動を実施する。

III. 広報・出版

交通とその安全に関する研究成果を広く社会に発信することで、会員及び海外を含む研究者・学識経験者の知識交流の場を提供するとともに、本会の活動を広く認識してもらうために、以下の活動を推進する。

1. 「IATSS Review：国際交通安全学会誌」を刊行する。
2. 「IATSS RESEARCH：英文論文集」を電子ジャーナルとして出版する。
3. 研究調査成果及び広報資料を発行する。
4. 英文コンテンツの充実をはじめ、Webを活用した国内外への積極的な情報発信を図る。

IV. 褒賞

交通及びその安全に関する「業績」「著作」「論文」の各部門で選考し、学会賞贈呈式にて授賞する。

内 容

V. IATSSフォーラム

IATSSフォーラム創立40周年にあたる2025年に向け、以下の施策を推進する。

1. 平成29年度より検討を進め、昨年の国際委員長会議で合意された新研修プログラムの試行
 - 1) フォーラム開催期間の短縮(現行55日間 → 46日間)
 - 2) 新研修プログラム導入に向け、一部プログラムの先行運用開始
2. IATSS会員、フォーラム同窓生との連携展開
3. IATSSフォーラムの開催
 - 1) 開催期間
第63回 (5月20日～7月4日)
第64回 (9月16日～10月31日)
 - 2) 参加国
インド、インドネシア、カンボジア、
シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、
マレーシア、ミャンマー、ラオス
4. 第10回国際同窓生会議(International Alumni Meeting)の開催支援
 - 1) 開催時期
2020年11月下旬
 - 2) 場所
シンガポール

VI. 業務運営等

研究者の育成、学会の裾野を広げる事を目的とした、現行の会員制度を補完する制度の試行実施